

大阪市消防局航空隊との合同連携訓練を実施

大阪市消防局航空隊
柏原羽曳野藤井寺消防組合

柏原羽曳野藤井寺消防組合では平成26年8月5日(火)、柏原市大和川親水公園及び管内の山林で、大阪市消防局航空隊と実災害において、防災ヘリ要請時に円滑な消防活動を行うため合同連携訓練を実施しました。

訓練内容として、防災ヘリ危険要因把握訓練、災害地点把握訓練及び映像伝送装置使用訓練等を大阪市消防局航空隊隊員5名、当消防組合職員33名、計38名が参加しました。

また、今回の訓練を通じてお互いの協力体制を築くことができました。



関西国際空港の安全強化へ

～複合管理棟に初の防火基準適合表示マーク交付～

泉州南広域消防本部

泉州南広域消防本部(根来 芳一消防長)では、旅館・ホテルを対象にした防火基準適合表示制度に基づき関西国際空港の複合管理棟に組合管内初の防火基準適合表示マーク(適マーク)の交付に際し、交付式を実施しました。

この交付式では、消防長から新関西国際空港株式会社後藤 潔執行役員に適マークを交付後、今後、一丸となり防火管理の徹底を求める訓示の後、消防本部予防課 小川 雅弘主幹から「適マークの重要性」についての講習を行いました。

なお、複合管理棟は、ホテル・店舗等を有する大規模な複合用途防火対象物でハード面(消防用設備等及び防火区画等)及びソフト面(防火管理)とも、すべてに不備がないため交付に至ったものです。



消防通信 望楼 ぼうろう

市内児童館において花火教室を実施しました。

長久手市消防本部

長久手市消防本部では、夏休みが始まった7月22日から29日にかけて市内児童館(6館)と協力し、同館を利用する児童を対象に「花火教室」を実施しました。

市消防本部では、ルールやマナーを守り、安全に花火を楽しんでもらうために市危険物安全協会マスコットキャラクター「どーべるくん」と協力したアトラクションを行いました。

参加した児童はこの教室を通じて、花火を正しく取り扱うための知識を身に付けてくれたものと思います。



太陽光発電システムの火災における消火活動の勉強会を開催しました。

湖南広域消防局

湖南広域消防局では8月6日(水)、管内において事業を展開されている株式会社京セラソーラーコーポレーションから講師を招き、近年、急速に普及している太陽光発電システムにおける消火活動上の留意点等について勉強会を実施しました。

この勉強会には災害現場で活動する隊員60名が参加し、当システムの構造、危険性の知識を深め認識することで、消火活動時における隊員の安全確保及び活動能力の向上を図ることができました。



消防通信/望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】